

六花の輝き

<教育目標>

喜んで登校し、
生き生きと学ぶ子ども

〒943-0805 上越市木田3-1-25

TEL 025-523-3858 FAX 025-525-7188

E-mail takashi@jorne.or.jp

ありがとうございました

校長 遠藤和英

令和2年度の高志小学校も、残す行事は23日の終業式と24日の卒業式のみとなりました。今年度は、年間を通じて新型コロナウイルス感染症への対応に悩まされた年でした。年間当初に予定していた教育活動をそのまま実施することは難しく、特に1学期は、夏休みを短縮してまで学習内容の習得を最優先させましたが、予定していた行事等はほとんど実施することができませんでした。

2学期は、必要なことをなんとか実施していこうと工夫した学期でもありました。体育や音楽で必要な限りの距離をとり、各種運動、楽器の演奏や合唱などを実施してきました。教室内の授業でも、周りが必要な間隔を意識し、友達と話し合うなどのコミュニケーションをとりながら学び合う形態の授業も実施してきました。また、残念ながら文化祭は実施できませんでしたが、運動会、修学旅行、自然教室、なかよしウォークなども、考えられる感染症対策を講じた上で実施することができました。

そして3学期。始まったばかりというのに、大雪のため再びの臨時休業。また、上越地域での感染症のクラスター発生と、何という年なのだろうと感じたのは私ばかりではないでしょう。しかし、そんな中でも、職員は、絶えずどうしたらよいのか正解のない問いに向き合い、計画を見直し、子どもたちに方向性を示してきました。また、子どもたちもそれに応え、逞しい姿を見せてくれました。特に、「6年生を送る会」での5年生の姿、また、つい先日行われた「全校なかよし班遊び」などに代表される各種卒業プロジェクトに取り組む6年生の姿などでは、それぞれの成長を強く感じました。

予定どおりにいかなかった1年間、保護者の皆様にはどのように映ったでしょうか。臨時休業が続き、思うように学校に通えないお子さんの様子を見て、不安に感じた方もいらっしゃるでしょう。また、授業参観、各種PTA活動、学年PTCなど、計画どおりに進まないことが多く、ご不満を感じた方もいることでしょう。本当にご迷惑をおかけしました。にもかかわらず、たくさんのご協力をいただきました。特に、運動会でのグラウンド整備、大雪後の学校再開での登下校の見守り、また、最近では不審者対応のための臨時の下校時の見守りなどでは、ボランティアで学校の危機を救っていただきました。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

さて、今年度の最後の行事である卒業式は、6年生、保護者、教職員で実施することにいたしました。卒業式の中で在校生それぞれが成長する姿を見せ、全校で6年生を送り出すことはできませんが、前日に行う卒業セレモニーで、きっとそれぞれの子どもたちが1年間の成長を発揮し、6年生に温かな感謝の気持ちを表してくれるものと期待しています。

今年度も、高志小学校の子どもたち、職員を温かく見守っていただき感謝いたします。

ありがとうございました

高志小学校ABCD**A:あたり前のことを****B:ばかりにしないで****C:ちゃんとできる人が****D:できる人(すごい人)**

★3月1日、新型コロナウイルス感染症に関して、放送を通じて、子どもたちに次のような話をしました。

////////////////////

新型コロナウイルス感染症の話は、みなさんもニュースなどで聞いたことがありますよね。上越市でも先週からその感染症にかかる人がたくさん出ていることも知っていますか？新型コロナウイルス感染症は、インフルエンザと同じように、ウイルスを通じて人から人へとうつっていきます。みなさんがマスクをして手洗いやうがいをしているのも、うつるのを防ぐためです。しかし、どんなに防いでいてもかかってしまう場合もあるのです。残念ながら上越市でも、小学生や中学生、そして高校生まで感染している人が出ました。

そこで、今日は、2つのことについて考えてもらいます。

1つ目です。あなたは新型コロナ感染症にかかりました。そのため学校を休まなければならないことになりました。さて、あなたは、家にいてどんなことを考えると思いますか。心の中で静かに考えてみてください。いくつ考えてもOKです。

みなさんは、どんなことを考えたでしょうか。「早く治ってほしい」「苦しかったり、痛かったりしないといいな」などと病気が治ってほしいと考えた人、手を挙げてみてください。教室の中に何人いたでしょうか？

さて、この他のことを考えた人はいませんか？「友達から嫌なことを言われたいといいな」「友達が変わるわさをしないといいな」こんなことを考えた人はいませんか？似ていることを考えた人は手を挙げてみてください。さて、何人いたでしょうか？さっきの人数と比べてどちらが多かったでしょうか？

新型コロナに関して、病気にかかってしまうことももちろん怖いのですが、それと同じくらい、人から嫌なことを言われるなど、差別される、いじめられることが怖いなど校長先生は感じていません。みなさんはどうですか？

新型コロナ感染症は、インフルエンザと同じウイルスによる病気です。特別に変わった病気ではありません。体がウイルスに打ち克つと、治る病気です。でも、友達から嫌なことを言われたり、されたりすると、体は治っても心が傷ついてしまいます。友達の心を傷つけてしまうようなことをしたり言ったりすることは、絶対にしてはいけません。

さて、みんなに考えてもらうことの2つ目です。友達が新型コロナにかかってしまいました。でも、すっかり治り、今日から学校に来ることになりました。あなたは、学校でその友達にどんな言葉をかけますか？さあ、考えてみてください。

これは、みなさんの考えたことは聞きません。かわりに校長先生ならどうするかを話しますね。校長先生は、思いっきり大きな声で「おはよう！待ってたよ」と言います。みんなはどんな言葉を考えたでしょうか？よかったらあとで隣の人と話してみてください。

最後です。今、上越では、新型コロナにかかる人が大勢出ている。高志小学校でも、今はいませんが、このあとかかってしまう人が出るかもしれません。病気で苦しんでいる人に、その心を傷つけるような言葉をかけたり、行動をしたりすることは許されません。また、コロナにかかっていなくても、かかった人の近くにいたということで検査を受けなければならない人が出るかもしれません。これは、先生方も、大人も一緒です。コロナにかかっていないのに、きっととても怖く、不安な気持ちになり、悩んでしまうでしょう。その人に対しても、その心を傷つけるような言葉をかけたり、行動をしたりすることは許されません。そんなときには、あなたがしてもらおうと嬉しいことをしっかり考え、同じことを友達にしましょう。あなたがしてもらって嬉しいことは、きっと友達も喜んでくれるはずですよ。

病気は治ります。でも、一度傷ついた心は治らないこともあります。みんなで気を付けましょう。これで校長先生の話が終わります。静かに聞いてくれてありがとう。

////////////////////